

# 9 文化観光スポーツ部

## 目 次

(1) 万国津梁会議（継続）	293
(2) 文化観光戦略推進事業（継続）	295
(3) Be.Okinawa Free Wi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業（継続）	296
(4) 沖縄ワーケーション促進事業（継続）	298
(5) エコツーリズム推進プラットフォーム事業（継続）	299
(6) 離島観光活性化促進事業（継続）	300
(7) クルーズ船プロモーション事業（継続）	302
(8) 外国人観光客受入体制強化事業及び関連2事業（継続）	303
(9) 沖縄観光国際化ビッグバン事業（継続）	305
(10) 観光2次交通機能強化事業（継続）	309
(11) 観光危機管理体制構築支援事業（継続）	311
(12) 観光人材育成・確保促進事業（継続）	313
(13) 地域通訳案内士育成等事業（継続）	315
(14) 東京2020オリンピック・パラリンピック沖縄県聖火リレー推進事業 （継続）	316
(15) スポーツツーリズム戦略推進事業（継続）	318
(16) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業（継続）	321
(17) 競技力維持・向上対策事業（継続）	322
(18) 戦略的MICE誘致促進事業（継続）	324
(19) マリントウンMICEエリア形成事業（継続）	326
(20) 沖縄食文化保存・普及・継承事業（継続）	327
(21) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）	328
(22) おきなわ国際協力人材育成事業（継続）	331
(23) 第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業（継続）	333
(24) 琉球歴史文化の日周知啓発事業（新規）	335
(25) しまくとぅば普及継承事業（継続）	336
(26) 琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）	338
(27) 在外琉球王国文化財里帰り事業（継続）	339
(28) 文化発信交流拠点整備事業（継続）	340
(29) 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業（継続）	341
(30) 多文化共生調査・啓発事業（継続）	342
(31) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業（継続）	344
(32) 沖縄県空手振興事業（継続）	345
(33) 国民文化祭・障がい者芸術文化祭おきなわ2022（仮称）準備事業（継 続）	348
(34) 社会体育活動の推進（継続）	350
(35) おきなわ観光バリアフリー推進事業（継続）	352

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：自立型経済発展資源の創出

重点施策事業名：万国津梁会議（継続）

事業期間：令和元年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

### 1 事業の目的・内容

沖縄21世紀ビジョンの基本理念及び5つの将来像を実現し、新時代沖縄を構築するため、有識者等の意見を聴取する「万国津梁会議」を設置する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
万国津梁 会議	18,334	1 万国津梁会議  沖縄21世紀ビジョンの基本理念及び5つの将来像を実現し、新時代沖縄を構築するため、有識者等の意見を聴取する「万国津梁会議」を設置する。	17,601	1 万国津梁会議  令和3年度は5テーマ（稼ぐ力、海外ネットワーク、多様な人材育成、プラスチック問題、琉球文化ルネッサンス）に関する会議を設置した。  それぞれの会議において、有識者による議論がなされ、稼ぐ力、海外ネットワーク、多様な人材育成に関する会議において、知事に対して提言がなされた。 プラスチック問題及び琉球文化ルネッサンスに関する会議については、課題の抽出・検証等を中心に有識者による議論がなされた（令和4年度へ継続）。	最終予算額 18,334 執行率 96.0% 不用額 733

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 万国津梁会議

効果： 令和3年度は、知事が提示した5テーマ（稼ぐ力、海外ネットワーク、多様な人材育成、プラスチック問題、琉球文化ルネッサンス）において

会議を設置し、それぞれ有識者による議論がなされ、稼ぐ力、海外ネットワーク、多様な人材育成に関する会議において、知事に対して提言がなされた。

稼ぐ力に関する万国津梁会議においては、沖縄県民の給与所得を全体として底上げし、貧困という課題を解消するために、域外市場における経済活動を通して獲得した所得を地域経済に適切に循環させることで、企業や社会の成長に活かしていく、その結果3年以内に一人あたりの月額給与を平均で1万円アップするという数値目標を設定した。

海外ネットワークに関する万国津梁会議においては、ウチナーネットワークの継承・発展に向けた課題として、若者の参加や世代間ギャップ、ウチナーンチュとしての意識・アイデンティティー、ウチナーネットワークの沖縄経済の自立的発展への有効活用、県内活動拠点の設置の提言がなされ、県の施策や取組に反映させていくこととしている。

多様な人材育成に関する万国津梁会議においては、今後の沖縄の産業、地域、教育等において、必要とされる能力（人間力）を備えた人材はどのような人材か、またそれを向上させる取組についての提言がなされ、県の施策や取組に反映させていくこととしている。

課題： 各会議において報告された意見や提言を踏まえ、更なる政策の推進が必要である。

**基本項目：**「新時代沖縄」の到来

**実施項目：**自立型経済発展資源の創出

**重点施策事業名：**文化観光戦略推進事業（継続）

**事業期間：**平成24年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄の特色ある文化・芸術等を観光資源として活用した観光振興の取組を促進する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
文化観光 戦略推進 事業	29,545	1 文化観光戦略 推進事業  ・文化資源を活用 した舞台公演及び プロモーションを 実施する。	59,724	1 文化観光戦略 推進事業  ・文化資源を活用 した舞台公演及び プロモーションを 実施した。  ・沖縄芸能の舞台 公演の制作や撮影 を行い、オンライ ン配信等を行っ た。	☆ 最終予算額 61,557 執行率 97.0% 不用額 1,833

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 文化観光戦略推進事業

効果： 沖縄の特色ある伝統行事や伝統芸能に代表される多様で豊かな文化資源を活用して、新たな観光コンテンツを創出するとともに、WEBを通じて沖縄の芸能を国内外に配信することで、観光誘客が期待できる。

課題： 文化コンテンツを観光メニューとして確立し、観光誘客を図る必要がある。

**基本項目**：「新時代沖縄」の到来

**実施項目**：沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名**：Be.Okinawa FreeWi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業（継続）

**事業期間**：平成31年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 観光振興課

**1 事業の目的・内容**

観光消費額を向上させるため、「キャッシュレス」を推進させる取組を行うとともに、「キャッシュレス」に不可欠な高速通信環境（光回線）に利用する「フリーWi-Fi」の推進に取り組み、相乗効果の発揮を図る。

**2 事業の実績**

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
Be.Okinawa FreeWi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業	70,010	1 Be.Okinawa FreeWi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業  ・コンタクトレス決済端末機の導入補助  ・コンタクトレス決済端末機導入事業者へのアンケート調査  ・Be.Okinawa FreeWi-Fi利用者アンケート調査  ・協議会の開催	32,967	1 Be.Okinawa FreeWi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業  ・413台のコンタクトレス決済端末機の導入を補助  ・273事業者に対してアンケート調査を実施  ・490人に対してアンケート調査を実施  ・令和4年1月に開催し、事業報告や今後のあり方等について検討を行った	☆ 最終予算額 70,010 執行率 47.1% 不用額 37,043

**3 事業の効果/課題**

(1) Be.Okinawa FreeWi-Fi活用キャッシュレス整備実証事業

効果： 413台のコンタクトレス決済端末機の導入を補助することにより、県内観光関連施設のキャッシュレス化の推進に寄与することができた。

導入後のアンケート調査では、導入事業者の4割が売上が向上した・しそうとの回答を得ることができ、消費喚起にも一定の効果があった。

Be.Okinawa FreeWi-Fiについては、利用者アンケートを実施することで、同Wi-Fiの認知度、課題・ニーズ等を把握することができ、今後の施策を推進するための参考とすることができた。

課題： 県内の観光関連施設におけるキャッシュレスの状況について、普及率や導入に係る課題等をより明確にした上で、キャッシュレス化を図っていく必要がある。

Be.Okinawa FreeWi-Fiについては、アンケート調査により明らかとなった認知度の低さや繋がりにくい等の課題に対して、その原因や対策を検討し改善に取り組んでいく必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：沖縄ワーケーション促進事業（継続）

事業期間：令和2年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

国内観光客の増加、滞在日数の延伸及び来訪時期の平準化を図るため、県外企業等向けに「新しい生活様式」を踏まえた沖縄ワーケーションを促進するプロモーションを行う。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄ワー ケーション 促進事 業	47,717	1 沖縄ワーケー ション促進事業  ・情報誌への掲載  ・セミナー（シン ポジウム）の開催  ・関係者の招聘  ・イベント出展等	47,253	1 沖縄ワーケー ション促進事業  ・オンライン記事 配信やセミナー （シンポジウム） 採録記事を掲載  ・オンラインで、 企業の総務・人事 担当者に対するセ ミナー（シンポジ ウム）を実施  ・関係者の招聘と して、県外企業6 企業がモニターツ アーに参加  ・Resor Tech EXP 0に参加し、モニ ターツアーに参加 した6企業による ワーケーションの 発表	☆ 最終予算額 47,717 執行率 99.0% 不用額 464

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄ワーケーション促進事業

効果： 県外企業等に対し、プロモーションを実施することで、沖縄でのワーケーションの認知度向上に繋がった。

課題： 沖縄以外の自治体においても、ワーケーション誘致に取り組む自治体があるため、他地域との差別化を図る必要がある。

**基本項目：**「新時代沖縄」の到来

**実施項目：**沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名：**エコツーリズム推進プラットフォーム事業（継続）

**事業期間：**平成30年度～

**部 課 等 名：**文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

観光共生型観光の推進のため、市町村、地域の協議会等が行う自然環境等の保全に配慮した観光地づくりへの取組を支援することにより、沖縄観光の持続的発展を図る。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
エコツーリズム推進プラットフォーム事業	7,156	1 エコツーリズム推進プラットフォーム事業  ・交通渋滞や観光地の混雑に関する課題等について整理を行う。  ・観光地マネジメントシステムの構築・導入に向けた要件整理。	7,072	1 エコツーリズム推進プラットフォーム事業  ・観光地におけるコロナ禍以前の課題整理。バス受入環境の整備状況。観光地周辺の混雑状況の把握。  ・観光地マネジメントシステム構築に向けた基本的な考えと仕様の検討	最終予算額 7,156 執行率 98.8% 不用額 84

### 3 事業の効果/課題

#### (1) エコツーリズム推進プラットフォーム事業

効果： 持続可能な観光の推進のため、持続可能な観光の課題や取組等について調査し、市町村の観光地マネジメントの基礎となる情報の整理を行った。

課題： 地域住民・観光客・事業者・自然環境等のバランスが取れた持続可能な観光を推進する上では、データに基づいた観光地マネジメントが必要であり、市町村が行う観光地マネジメントについて支援、促進する必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：離島観光活性化促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

離島航空路線の開設を目指したチャーター便支援や、観光協会と連携したキャンペーンを展開するなど、季節ごとのきめ細かな離島観光プロモーションを実施する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
離島観光 活性化促 進事業	138,070	1 離島観光活性化促進事業  (1)離島航空路開設 ・チャーター便支援  (2)離島観光プロモーション 離島観光の全般的な魅力の発信、旅行会社や航空会社と連携したキャンペーン  (3)離島観光基盤強化 主要離島地域（八重山・宮古・久米島）観光協会が主体となった地域プロモーション	132,813	1 離島観光活性化促進事業  (1)離島航空路開設 ・チャーター便支援 実施件数：7件  (2)離島観光プロモーション WEBや新聞、テレビ等各種媒体を活用し、多方面から離島路線の認知度向上及び旅行先としての魅力を訴求し、離島への来訪促進を図った。  (3)離島観光基盤強化 八重山・宮古・久米島観光協会が主体となり、離島観光の旬な情報発信、県外イベント等において離島魅力のPRを実施した。	☆ 最終予算額 138,070 執行率 96.2% 不用額 5,257

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 離島航空路開設・チャーター便支援

効果： 宮古島・石垣島へ新たな路線が就航するなど、チャーター便支援の本来の目的（定期便化）の観点で行くと、概ね目的を達成できている。

課題： 久米島への本土路線の定期便化に向け、引き続き支援を実施する必要がある。

#### (2) 離島観光プロモーション

効果： 各離島の魅力について各種媒体を活用したプロモーションを実施し、離島全体での誘客の強化を図った。

課題： 認知度の低い本島周辺の小規模離島について、Web等を活用してプロモーションを重点的に実施する必要がある。

#### (3) 離島観光基盤強化

効果： 感染収束後の入域観光客数の回復を図るため、八重山・宮古・久米島の旬な観光情報の発信を継続し、旅行需要の維持に努めた。

課題： 観光消費単価向上に向けて、各離島ならではの魅力を活かしたプロモーションを実施し、離島周遊を促進する必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：クルーズ船プロモーション事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

クルーズ船の寄港促進を図るため、国内外での船会社へのセールス活動や展示会出展、各種メディアへの露出等のプロモーション展開、寄港促進に向けた支援、受入体制の強化・拡充等を実施する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
クルーズ 船プロモ ーション 事業	77,159	1 クルーズ船プロモーション事業  ・誘致活動 ・寄港促進支援 ・受入体制強化	54,063	1 クルーズ船プロモーション事業  ・誘致活動 (キーパーソン招聘、訪問セールス、クルーズ関連メディアへの露出) ・受入体制強化 (クルーズ船社との定期会議) ・ツール制作等(W ebsiteの拡充、デジタルパンフの政策)	☆ 最終予算額 56,738  執行率 95.3%  不用額 2,675

### 3 事業の効果/課題

#### (1) クルーズ船プロモーション事業

効果：クルーズの運航再開後に需要が高まると見込まれている離島周遊、寄港地観光など、沖縄の強みを活かした商品造成・ブラッシュアップ、販売促進につながり、沖縄を活用したクルーズ観光を推進するためのクルーズ船社等との関係強化が図られた。

課題：新型コロナウイルス感染拡大により、令和2年3月以降、沖縄を寄港予定であったクルーズがすべてキャンセルとなった。国交省の定めた運航マニュアルの策定等を受け、令和2年11月より国内クルーズは再開しているが、海外クルーズについては、国のガイドラインが示されていないことから、まだ先が見通せない状況である。また、コロナ感染拡大初期のダイヤモンド・プリンセス号の事件により、クルーズは感染症が拡大する危険性が高い乗り物であるというネガティブなイメージが浸透してしまっており、クルーズ船が講じている感染対策・受入再開に対する県民の理解、地域の協力体制の再構築が必要である。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：外国人観光客受入体制強化事業及び関連2事業（継続）

事業期間：平成27年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

外国人観光客の満足度向上のため、県内の受入体制整備、観光事業者の対応力向上及び県民の観光客を迎え入れる気運の醸成等を図る。

2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
外国人観光客受入体制強化事業及び関連2事業	100,341	1 外国人観光客受入体制強化事業	93,831	1 外国人観光客受入体制強化事業	☆ 最終予算額 100,341 執行率 93.5% 不用額 6,510
	23,895	(1)外国人観光客受入体制強化事業  ・受入ツール制作事業  ・インバウンド受入強化啓発事業  ・ムスリム等受入環境整備事業  ・インバウンドビジネスセミナー実	23,420	(1)外国人観光客受入体制強化事業  ・パンフレット等の受入ツールをオンライン上で公開する特設サイトを開設した。  ・各国の外国人観光客の文化・習慣等を反映したおもてなし方法を紹介する動画を制作した。  ・ムスリム等の多様な食文化に対応したレシピを開発したり、飲食関連事業者等向けのセミナーの実施、県内のムスリムやベジタリアン料理等を提供する店舗一覧を整理した。  ・観光関連事業者等向けにビジネス	最終予算額 23,895 執行率 98.0% 不用額 475

	施事業			
42,720	(2)Be.0kinawa多言語 コンタクトセンター 運営事業 ・外国人観光客への 県内情報提供や 県内事業者との通 訳業務	42,718	セミナーを実施し た。  (2)電話、メール(有 人)による対応14 1件、チャットボ ット(無人)利用 176件。 ・ボットコンテン ツへのピクトグラ ム追加で視覚効果 の向上に努めた。	最終予算額 42,720 執行率 99.9% 不用額 2
33,726	(3)インバウンド医 療受入体制整備事 業 ・医療通訳コール センター運營業務 ・インバウンド医 療受入体制整備支 援業務	27,693	(3)インバウンド医 療受入体制整備事 業 ・医療通訳コール センター利用1,37 5件。 ・沖縄県内の外国 人医療の現状と海 外渡航等に関する 最新情報について 医療機関向けの研 修会を実施した。 ・外国人観光客が 医療制度や医療機 関のかかり方を来 沖前に把握し、ま た医療機関へ円滑 に受診できるよう に、周知動画を作 成した。	最終予算額 33,726 執行率 82.1% 不用額 6,033

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 外国人観光客受入体制強化事業

効果： 受入ツールの制作やインバウンド受入意識啓発プロモーションの実施、ムスリム等の食の多様性への対応促進、インバウンドビジネスサポート事業等、外国人観光客受入に係る取組を行ったことにより、県内の外国人観光客の受入体制整備が図られた。

課題： 新型コロナウイルス感染症の影響により外国人観光客数は前年度比皆減となったが、感染収束後を見据えたインバウンド受入体制の整備に係る取組を継続して行う必要がある。

#### (2) Be.0kinawa多言語コンタクトセンター運営事業

効果： インバウンド受入再開に向け、外国人観光客の周遊サポートを目的としたチャットによる視覚情報の取組で、受入体制強化が図れた。

課題： 新型コロナウイルス感染症がもたらした観光業の離職問題は、インバウンド再開後の外国人観光客対応にも影響することから、多言語コンタクトセンター等の利用促進を継続して行う必要がある。

#### (3) インバウンド医療受入体制整備事業

効果： インバウンドの受入再開本格化を見据えた、アフターコロナのインバウンド受入に係る課題や求められる取組について、医療機関向け、観光事業者向けのセミナーを実施することで、受入体制強化が図られた。

課題： インバウンド受入再開の動向を注視し、外国人観光客が安心・安全に沖縄観光を楽しむことができるような受入体制を整備するとともに、外国人観光客患者を受け入れる医療機関の負担軽減のため、引き続き、医療対応多言語コールセンターを設置する必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：沖縄観光国際化ビッグバン事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

国際観光地としての基礎的需要の創出を図るため、航空路線の誘致や知名度向上、受入体制の構築等を行う。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄観光 国際化ビ ッグバン 事業	498,626	1 沖縄観光国際 化ビッグバン事 業	403,286	1 沖縄観光国際 化ビッグバン事 業	☆ 最終予算額 417,190 執行率 96.7% 不用額 13,904
	4,070	(1)海外路線誘致活 動強化事業 ・路線誘致のため の航空会社との接 触、交渉、キーパ ーソン招聘の事業 を実施する	2,447	(1)海外路線誘致活 動強化事業 ・オンラインで開 催された航空商談 会に出展したほ か、国際線の再開 に向けた航空会社 へのアンケートや CIQ等関係機関へ の意見交換会を開 催した。	
	8,680	(2)国際チャーター 便包括支援事業 ・路線誘致の第一 歩となるチャータ ー便の実施に際し ての支援を実施す る。	0	(2)国際チャーター 便包括支援事業 ・新型コロナウイルス 感染症の影響 による入国制限措 置によりチャータ ー便の運航がなく 、支援を実施す ることが出来な かった。	

50,220	(3) 定期便就航促進 ・活性化支援事業 ・新規路線の就航を促すため、航空会社に対する就航初期の支援を実施する。	0	(3) 定期便就航促進 ・活性化支援事業 ・新型コロナウイルス感染症の影響による入国制限措置により新規の定期便の運航がなく、支援を実施することが出来なかった。
60,800	(4) 海外新規市場開拓事業 ・戦略開拓市場（タイ、シンガポール、マレーシア等）、新規開拓市場（欧州、北米、豪州）において、現地関係機関と連携し、各市場特性を踏まえたプロモーション活動を展開し、誘客を図る。	52,328	(4) 海外新規市場開拓事業 ・戦略開拓市場（タイ、シンガポール、マレーシア等）、新規開拓市場（欧州、北米、豪州）において、現地旅行会社やメディアとの取組、現地旅行博の出展、イベントの開催の他、オンラインでのプロモーション活動を実施し、コロナ後を見据えた取組を行った。
60,776	(5) 海外重点市場誘致強化事業 ・重点市場（台湾、香港、中国本土、韓国）において、現地関係機関と連携し、各市場特性を踏まえたプロモーション活動を展開し、誘客を図る。	68,149	(5) 海外重点市場誘致強化事業 ・重点市場（台湾、香港、中国本土、韓国）において、県海外事務所と連携し、現地旅行会社やメディアとの取組、現地旅行博の出展、イベントの開催の他、オンラインでのプロモーション活動を実施し、コロナ後を見据えた取組を行った。
96,745	(6) 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ・沖縄観光の国際的なブランドを向上させるため、海外市場に向けて効果的にブランド広告を発信し、沖縄	96,745	(6) 沖縄観光ブランド戦略推進事業 ・ブランド動画を制作し、各市場において広告配信を行った他、媒体への広告出稿や他ブランドとの連携な

	観光ブランドイメージの浸透を図る。			ど、コロナ後を見据えたブランド発信を行った。
40,120	(7)海外コンテンツマーケティング事業 ・多言語によるSNSでの情報発信の他、多言語観光情報サイトの更新及び企業等が活用する静止画、動画情報の更新を行う。	49,751	(7)海外コンテンツマーケティング事業 ・WEBサイト、Facebook、Instagram、Weibo、WeChatにより、多言語での情報発信を行った。	
37,000	(8)沖縄国際観光イノベーション事業 ・海外市場におけるキックオフプロジェクト及び国際旅客ハブの構築を目指し、航空会社等との連携プロモーションを実施する。	18,626	(8)沖縄国際観光イノベーション事業 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、キックオフプロジェクトは開催することができなかった。国際旅客ハブの構築を2社ととの連携プロモーションを実施した。	
30,761	(9)海外富裕層向けプロモーション事業 ・海外富裕層に特化したプロモーションの実施と富裕層専門のエージェントと県内事業者のマッチング機会の創出を図る。	30,761	(9)海外富裕層向けプロモーション事業 ・海外富裕層向け媒体への広告出稿や、富裕層専門エージェントとのオンライン商談会開催を実施し、コロナ後の富裕層インバウンドを見据えたプロモーションを実施した。	
1,263	(10)海外潜在市場活性化事業 ・潜在市場（インド、中東、北欧）において、現地関係機関と連携し、各市場特性を踏まえたプロモーション活動を展開し、誘客を図る。	0	(10)海外潜在市場活性化事業 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、潜在市場での取組を行うことが出来なかった。	

	108,191	(11)委託事業内における人件費、一般管理費及び消費税及び本庁事務費	84,479	(11)委託事業内における人件費、一般管理費及び消費税及び本庁事務費	
--	---------	------------------------------------	--------	------------------------------------	--

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄観光国際化ビッグバン事業

効果： 好調な観光需要を背景に既存路線の増便や複数会社化が進んだことから、県内空港における国際線の週間就航便数は平成30年度末の週232便から令和元年8月には256便まで増加した。

新型コロナウイルス感染症による入国制限措置の影響で令和2年3月下旬以降、国際線は運休となっている。そのため、早期再開に向けて航空会社とオンラインによる個別面談を実施したほか、関係機関との意見交換会を開催した。

また、外国人観光客数についても、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、平成31年度の249万人（うち空路142.7万人、海路106.3万人）から皆減となった。国際観光地沖縄としてのデスティネーションの優位性を保ち、入国制限解除後の旅行需要の取り込みに備え、県海外事務所や英・独・仏・豪に設置している海外委託駐在員を通じた現地の観光関連事業者への取組やイベント開催、旅行博への出展、オンラインでのプロモーション活動を実施した。

課題： 国際線の早期回復に向け、引き続き関係機関と連携して働きかけを行う。また、観光目的での入国制限解除後の需要の取り込みを見据え、沖縄への興味・関心を維持拡大するための取組を実施するとともに、経由便を活用した欧米等の長期滞在型リゾート需要の獲得や観光客滞在日数の延伸に向けた取組を行う必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：観光2次交通機能強化事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

観光客の過度なレンタカー利用等に起因する2次交通の課題解決を図るため、路線バスのコンタクトレス決裁端末導入に係る実証実験等を実施する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光2次 交通機能 強化事業	52,468	1 観光2次交通 機能強化事業  ・那覇空港を発着 する観光客の利用 が多い路線バスを 対象にコンタクト レス決裁端末普及 に向けた実証実験 を実施する。  ・観光客の動態デ ータの取得・分析 を実施する。	52,060	1 観光2次交通 機能強化事業  ・新型コロナウイルスにより、路線 バスの減便や休止 などが相次ぎ、実 証実験の期間を十 分に確保できなかつたため、次年度 も継続して実施す る。  ・観光客の動態デ ータを9,263サン プル以上収集し、 分析を行い、観光 客の周遊行動を分 析した。	☆ 最終予算額 52,468 執行率 99.2% 不用額 408

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 観光2次交通機能強化事業

効果： 実証実験の実施により、ウィズコロナ・アフターコロナにおける新たな生活様式への対応等が可能となり、実証実験後の民間事業者による自走化を促進することにより、公共交通機関の利便性向上が図られ、今後のインバウンドを含む需要回復期への活用が期待される。

また、観光系路線バスの状況データ及びレンタカーのGPS情報を活用した観光客の動態データの収集・分析を実施したことにより、定量的な

データに基づいた観光客の周遊行動を把握することができるようになった。

課題： 公共交通機関においても、ウィズコロナ・アフターコロナにおける新しい生活様式に対応していく必要が生じている。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：観光危機管理体制構築支援事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

1 事業の目的・内容

観光地としての安全・安心を確保するという課題に対応するため、国、市町村、OCVB、地域観光協会、観光業界等と連携して観光危機管理に関する先導的な取組を実施し、県内各地に波及、拡大を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光危機 管理体制 構築支援 事業	76,454	<p>1 観光危機管理 体制構築支援事 業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村の観光危 機管理計画策定支 援を実施する。</li> <li>災害・危機時に おける、計画の検 証、関係機関相互 の連携強化等を図 ることを目的に、 観光危機管理の図 上訓練を実施す る。</li> <li>沖縄県のコロナ への取組と課題を 振り返り、今後の 沖縄観光の展望に ついて考えること を目的に、危機管 理セミナーを実施 する。</li> <li>観光客の新型コ ロナウイルス感染 防止対策への取組</li> </ul>	124,496	<p>1 観光危機管理 体制構築支援事 業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>市町村の観光危 機管理計画策定支 援のため、オンラ イン勉強会を3回 実施し、20市町村、 8観光協会が参加 した。</li> <li>災害・危機時に おける、計画の検 証、関係機関相互 の連携強化等を図 ることを目的に、 観光危機管理図上 訓練を実施し、37 機関、133名が参 加した。</li> <li>沖縄県のコロナ への取組と課題を 振り返り、今後の 沖縄観光の展望に ついて考えること を目的に、危機管 理セミナーを実施 し、県内外の観光 関係者等100名が 参加した。</li> <li>観光客の新型コ ロナウイルス感染 防止対策への取組</li> </ul>	<p>☆ 最終予算額 125,582 執行率 99.1% 不用額 1,086</p>

	を周知・啓発するため、公共交通機関やレンタカー等を活用した広告を行い、観光客への感染対策の周知を図る。		を周知・啓発するため、公共交通機関やレンタカー等を活用した広告を行い、観光客への感染対策の周知を図った。
--	---	--	--

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 観光危機管理体制構築支援事業

効果： 観光危機管理計画策定に向けた市町村勉強会を実施したところ、計画策定市町村数は、12市町村と令和2年度と横ばいになっているが、計画策定中の市町村が4市町村あり、合計すると16市町村となっていることから、着実に増加している状況である。

また、観光危機管理セミナー参加者に対し、観光危機管理に対する参考になったかどうかをアンケートで検証し、非常に参考になった、参考になったと回答した者が90%となり、目標を達成した。

課題： 観光危機管理計画を策定している市町村が16市町村と、半分以下となっていることから、引き続き、策定に向けた支援を行うとともに、セミナーや図上訓練を実施することで、県全体の観光危機に対する意識啓発に努めていく必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：観光人材育成・確保促進事業（継続）

事業期間：平成30年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

国内外の観光客が安心・満足する高いサービスを提供できる観光人材を育成・確保し、観光関連事業者の円滑な業務に資する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
観光人材 育成・確 保促進事 業	47,159	1 観光人材育成 ・確保促進事業  ・観光関連従事者 の対応能力向上を 図るため、講師と 企業のマッチング を20件行う。  ・観光関連事業者 が共通に抱える課 題に取り組むため 集合型研修等を開 催し、20事業者が 参加する。  ・オンラインセミ ナー動画を配信す る。（20動画）  ・インターンシッ プの受入を促進す るため、7事業者 のインターンシッ プ受入支援を行 う。	45,279	1 観光人材育成 ・確保促進事業  ・観光関連従事者 の対応能力向上を 図るため、講師と 企業のマッチング を12件行った。  ・観光関連事業者 が共通に抱える課 題に取り組むため 集合型研修等を開 催し、66事業者が 参加した。  ・オンラインセミ ナーを14動画配信 した。  ・インターンシッ プの受入ガイドラ インを作成した。	☆ 最終予算額 47,159 執行率 96.0% 不用額 1,880

### 3 事業の効果/課題

(1) 観光人材育成・確保促進事業

効果： 集合型研修及びオンラインセミナー満足度 89.3%

（集合型研修の受講者及びオンラインセミナー閲覧者にアンケートを実施し、効果を検証した）

また、集合型研修において、66事業者（受講生88人）が参加しており、観光客が満足する高いサービスを提供できる人材の確保に寄与している。

課題： 新型コロナウイルス感染症の影響により、観光業界では人材不足が深刻化しており、人材育成に取り組む観光事業者も減少しているため、中長期的な観光人材の育成・確保に繋がる取組を強化していく必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：地域通訳案内士育成等事業（継続）

事業期間：平成25年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 観光政策課

### 1 事業の目的・内容

沖縄県地域通訳案内士の育成研修や有資格者に対するスキルアップ研修及び就業機会の確保支援を実施する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
地域通訳 案内士育 成等事業	36,242	1 地域通訳案内 士育成等事業  ・有資格者に対す るスキルアップ研 修の実施。 募集人数 中国語：80名程度 韓国語：20名程度 英語：50名程度 合計：150名程度  ・有資格者（英語 のみ）に対するス キルアップ研修 （沖縄空手文化コ ース）の実施。 募集人数：40名程 度	33,808	1 地域通訳案内 士育成等事業  ・有資格者に対す るスキルアップ研 修の実施。 研修修了者数 中国語：50名 韓国語：12名 英語：19名 合計：81名  ・有資格者に対す るスキルアップ研 修（沖縄世界自然 遺産コース）の実 施。 研修修了者数：40 名	☆ 最終予算額 36,242 執行率 93.3% 不用額 2,434

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 地域通訳案内士育成等事業

効果： 地域通訳案内士の育成と確保により、本県を訪れる外国人観光客のニーズの多様化・高度化や量的拡大に対応できる人材が育成・確保され、受入体制の充実・強化が図られるとともに外国人観光客の満足度の向上と再訪意欲の向上が見込まれる。

課題： 資格取得者に対する最新のアンケート調査において、未就業者は49.2%存在し、就業していない主な理由として一定の収入が見込めないことが挙げられていることから、有資格者の就業機会の確保のためのフォローアップ支援を引き続き実施する必要がある。

**基本項目：**「新時代沖縄」の到来

**実施項目：**沖縄らしい観光リゾート地の形成

**重点施策事業名：**東京2020オリンピック・パラリンピック沖縄県聖火リレー推進事業  
(継続)

**事業期間：**平成30年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

**1 事業の目的・内容**

2021年（令和3年）に実施される東京2020オリンピック・パラリンピックへの期待を高め、オリンピック・パラリンピックムーブメント向上につなげるため、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火リレーにおける聖火フェスティバルを実施する。

**2 事業の実績**

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
東京2020 オリンピック・パ ラリンピック沖縄 県聖火リレー推進 事業	123,643	<p>1 東京2020オリ ンピック・パラ リンピック沖縄 県聖火リレー推 進事業</p> <p>・オリンピック聖 火リレー実施にお けるリレーの運 営、聖火ランナー の管理、セレモニ ーの運営、広報PR 等を行う。</p> <p>・パラリンピック 聖火フェスティバ ルの企画・実施運 営、開催都市出火 式参加者対応、周 知、広報及びメデ ィア対応業務等 を行う。</p>	127,981	<p>1 東京2020オリ ンピック・パラ リンピック沖縄 県聖火リレー推 進事業</p> <p>・「まん延防止等 重点措置」の指定 に伴い、当初の14 市町村のうち、6 市町を名護市民会 館周辺で、5市町 を平和祈念公園で 無観客により実 施。 石垣市、座間味村 は当初どおり実施 し、宮古島市は中 止。</p> <p>・県内14市町で採 火された火を一つ の火にして出立式 を実施。 式終了後、事後 展示を実施。</p>	<p>最終予算額 128,072 執行率 99.9% 不用額 91</p>

**3 事業の効果/課題**

(1) 東京2020オリンピック・パラリンピック沖縄県聖火リレー推進事業

効果： コロナウイルスの感染拡大により、本島における公道での聖火リレー

を中止するなど、実施形態を変更しつつも、感染防止対策を講じながら、オリンピック聖火リレー及びパラリンピック聖火フェスティバルを実施した。

課題： コロナ禍での実施となったことから、感染症対策を踏まえた計画、マニュアル策定を行った。今後、県内で開催される大規模国際大会等においても活用できるようなノウハウの継承をしっかりと行う必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：スポーツツーリズム戦略推進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和3年度

部 課 等 名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

沖縄の温暖な気候とスポーツ資源を活用した新たな観光メニューであるスポーツツーリズムの普及を促進する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備 考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
スポーツ ツーリズム 戦略推 進事業	233,789	1 スポーツツーリズム戦略推進事業	284,686	1 スポーツツーリズム戦略推進事業	☆ 最終予算額 296,289 執行率 96.1% 不用額 11,603
	34,500	(1) スポーツイベント支援事業 ・県内で開催するスポーツイベントに対する補助	36,065	(1) スポーツイベント支援事業 ・県内で開催するスポーツイベントに対する補助5件	☆ 最終予算額 41,408 執行率 87.1% 不用額 5,343
	54,780	(2) スポーツ観光誘客促進事業 ・沖縄県へのスポーツ旅行に係るプロモーション	104,703	(2) スポーツ観光誘客促進事業 ・メディアの活用、スポーツイベントへの出展等によるプロモーション実施件数53件	☆ 最終予算額 104,780 執行率 99.9% 不用額 77
	30,454	(3) プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業 ・SNS活用プロモーション、空港・国際通りへの歓迎バナー掲出	32,777	(3) プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業 ・SNS活用プロモーション、空港・国際通りへの歓迎バナー掲出を実施	☆ 最終予算額 32,854 執行率 99.8% 不用額 77

30,000	(4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業 ・スポーツコンベンションの受入に係るワンストップ窓口設置	30,000	(4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業 ・スポーツコミッション相談件数123件	☆ 最終予算額 30,000 執行率 100%
84,055	(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・東京2020大会の事前キャンプ誘致に係るキーパーソン招聘等の実施	81,141	(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業 ・東京2020大会事前キャンプ実施4件	☆ 最終予算額 87,247 執行率 93.0% 不用額 6,106

### 3 事業の効果/課題

#### (1) スポーツイベント支援事業

効果： 新たなスポーツイベントの創出や定着化を図るため、スポーツイベントモデル事業への支援を行った。

課題： 創出したイベントの自走化には、資金調達力や運営力を向上させる必要がある。そのため、集客方法や運営などのノウハウを持つ有識者による指導・助言が重要である。

#### (2) スポーツ観光誘客促進事業

効果： 沖縄の年間を通じて温暖な気候とスポーツ資源を活用したスポーツツーリズムの普及・定着を図るため、テレビ、専門誌、イベント、モノレールラッピング、ウェブ等を活用した多角的なプロモーション等を実施し、本県への観光誘客を促進した。

課題： 沖縄へのスポーツを目的とした観光誘客を増加・定着させるためには、沖縄の優位性・独自性を生かしたPRだけではなく、新たな付加価値構築が必要となってくる。また、今後はスポーツに係る観光誘客を増加させるだけではなく、消費単価の拡大に向けた取り組みを検討する必要がある。

#### (3) プロ野球キャンプ等訪問観光促進事業

効果： キャンプ来訪へのPR活動、プロ野球キャンプ情報WEBサイトの構築、キャンプガイドブックの配布を行い、キャンプ来訪者の利便性の向上を図るとともに、新規誘客に向けた広報・宣伝を行った。

2年ぶりの有観客開催に向け、受入市町村、球団等関係機関との連携・協力を強化したことで、キャンプ期間中の魅力的なコンテンツ開発や、各キャンプ地へ衛生用品の設置等新型コロナ感染防止対策を講じた。

課題： 2年ぶりの有観客開催ではあったが、新型コロナ感染症拡大の影響により、プロモーション活動を抑制したこともあり、キャンプ地来訪者が従来より減少した。

今後、受入市町村や球団と連携し感染対策徹底を図るとともに、来訪意欲につながるプロモーションや来訪者満足度を高める取組が必要である。

#### (4) スポーツコミッション沖縄体制整備事業

効果： WEBサイトにおける県内スポーツ施設の情報掲載、SNS等を活用した情報発信により、本県のスポーツ環境のPRを図ることができた。令和3年度における国内外代表チームによる県内合宿件数は15件となり、コロナ禍においても、合宿が行われた。

課題： コロナ後の合宿需要を促進させるため、イベント出展やSNS、パンフレット等を活用し、国内外へ沖縄県のスポーツ環境をPRすることが必要である。

ラグビートップリーグの開催時期変更に伴い、開幕直前の合宿が夏場から秋口へ移動したことにより、避暑地ではなく温暖な合宿地が求められ始めている。他県（九州）に定着する前により温暖な沖縄県のスポーツ環境をPRすることが必要である。

(5) スポーツコンベンション誘致戦略推進事業

効果： 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ誘致に向け、受入希望市町村と連携し、海外誘致活動及びスポーツキーパーソン招聘等に取り組んだ。令和3年度は、アルゼンチンラグビー連盟及びルワンダパラリンピック委員会と事前合宿に係る連携協定を締結した。また、フランス、アルゼンチン、デンマーク、ルワンダの4か国の事前合宿受入を実施した。

課題： 新型コロナウイルス感染症の影響を強く受ける中で、海外チームの合宿受入を実現したことを踏まえ、県内施設や受入体制の課題を抽出し、解決策を検証する活動を継続する必要がある。

あわせて、顕在化した沖縄のビーチ環境などの独自の魅力を合宿誘致の強みとしてPRすることが必要である。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：サッカーキャンプ誘致戦略推進事業(継続)

事業期間：平成27年度～令和3年度

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

### 1 事業の目的・内容

サッカーキャンプの誘致を戦略的に推進するため、キャンプ誘致活動及び誘客のほか、県内グラウンドの芝生環境の向上を図る取組を行う。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
サッカー キャンプ 誘致戦略 推進事業	27,835	1 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ・26クラブ以上のクラブを誘致する。  ・県内グラウンドの芝環境の向上及び、新たなサッカーキャンプ地を創出する。	27,634	1 サッカーキャンプ誘致戦略推進事業 ・21のクラブ等を誘致した(うち4クラブは新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、中止)。  ・県内18グラウンドの巡回調査や管理作業により芝環境の向上を図った。	☆ 最終予算額 27,835 執行率 99.3% 不用額 201

### 3 事業の効果/課題

#### (1) サッカーキャンプ誘致戦略推進事業

効果： サッカーキャンプ受入市町村及びキャンプ実施クラブ等との連携を強化し、「スポーツアイランド沖縄」の認知向上及びブランド化を図った。

また、県内全域のグラウンド芝環境の向上のため、各地のグラウンドを巡回し、土壌調査や、県内外のグラウンドのクオリティを比較し、芝管理手法の情報共有等を通して、芝管理技術の底上げを図った。さらに、一部施設においては、景観やクオリティを向上させる管理手法を用いることにより、芝の品質を向上させた。

課題： コロナ禍での実施においては、沖縄県対処方針等に基づいた感染症対策の徹底が求められる。クラブチームの定着に向けては、クラブチームと受入れ市町村において、交流等を通じた関係性の強化を図る必要がある。離島においては、実践練習相手(トレーニングマッチ)の確保が課題。

新規のキャンプ実施希望クラブに対して、受入可能施設が不足している。また、一部施設において、さらなる芝管理技術の向上が課題となっている。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：競技力維持・向上対策事業（継続）

事業期間：平成23年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

競技力を向上させるための事業等への支援や国民体育大会及び九州ブロック大会への選手派遣等を行い、全国及び国際的に活躍できるトップアスリートを組織的・計画的に育成する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
競技力維持・向上 対策事業	243,639	1 競技力維持・ 向上対策事業	134,265	1 競技力維持・ 向上対策事業	最終予算額 143,508 執行率 93.6% 不用額 9,243
	157,148	・国民体育大会及 び九州ブロック大 会への選手団の派 遣	56,159	・国民体育大会及 び九州ブロック大 会への選手団の派 遣を行った。 ※第76回国民体 育大会中止、第41 回九州ブロック大 会夏季一部開催、 秋季大会中止 (派遣:424人)	
	14,323	・沖縄県民体育大 会の開催	5,640	・沖縄県民体育大 会を夏季競技の1 競技(水泳)開催 した。※秋季・冬 季競技については、 新型コロナウイルス 感染拡大により 開催中止 (参加:269人)	
	59,015	・競技力向上対策 事業の実施	59,653	・競技力向上対策 事業を実施し、県 内競技団体に対し 強化支援を行った。 (支援団体:41団 体)	

	7,206	・スポーツ少年団 育成事業の実施	7,204	・スポーツ少年団 育成事業を実施し、 交流大会等を行っ た。(県内6競技)	
	5,947	・スポーツ医・科 学研究事業の実施	5,609	・スポーツ医・科 学研究事業を実施 し、サポートプロ グラムに基づく支 援等を行った。(サ ポートプログラム 7チーム、研修会 ・講習会及び全国 会議5回参加)	

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 競技力維持・向上対策事業

効果： 沖縄県スポーツ協会等と連携した県民体育大会の開催や競技力向上等の取組により、本県のスポーツ振興、青少年の健全育成等に貢献した。

課題： 本県の競技力向上などスポーツの振興をより効果的に推進するため、沖縄県スポーツ協会や県内競技団体等との連携を強化する。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：戦略的MICE誘致促進事業（継続）

事業期間：平成24年度～令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

1 事業の目的・内容

MICEを沖縄観光の新機軸と位置づけ、国内外からの新たな需要を取り込み、市場の拡大を図るため、MICEの誘致、広報活動、開催支援、受入体制整備、沖縄MICEネットワーク活動、人材育成等に取り組む。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
戦略的MICE誘致促進事業	258,488	<p>1 戦略的MICE誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外のMICE見本市・商談会への参加及び誘致セミナーの開催等を通じて、誘致・広報事業を実施する。</li> <li>・沖縄県内で開催されるMICEに対して、開催支援等を実施する。</li> <li>・沖縄MICE振興戦略に基づき、産学官の連携体制を強化・拡充し、地域におけるMICE受入体制の充実を図る。</li> </ul>	148,720	<p>1 戦略的MICE誘致促進事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オンラインも活用して国内外のMICEバイヤー向け商談会に参加し(4回)、63件の商談を行った。また、誘致セミナーの開催(31件)等を通じて誘致・広報を実施した。</li> <li>・沖縄県内で開催されるMICEに対して、開催支援等を34件実施した。</li> <li>・産学官で構成する沖縄MICEネットワーク(会員数221団体)を運営し、勉強会を4回開催し、感染症ガイドラインを作成した。また持続可能なMICE開催を目指しサステナビリティガイドラインを作成した。さらに人材育成講座を6回開催するなどMICE人材の育成を行い受入体制の充実を図った。</li> </ul>	<p>☆ 最終予算額 151,769 執行率 98.0% 不用額 3,049</p>

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 戦略的MICE誘致促進事業

効果： 国内外のMICEバイヤー向け商談会に参加したことによって、MICE開催地としての沖縄の認知度向上が見込まれる。また、オンラインで県独自の商談会を開催し、県内MICE事業者と県外旅行業者等とのビジネス機会の創出が図られた。

誘致・広報活動ではオンラインも活用し沖縄MICEの魅力や感染症対策状況の発信など、沖縄でのMICE開催の需要の喚起を図った。また、MICE開催支援の拡充により主催者の満足度向上が見込まれる。

さらに、人材育成講座の開催によるMICE人材の育成、沖縄MICEネットワークの運営を通じた産学官の連携強化や、「沖縄版感染症対策業界別ガイドライン集」「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」の作成などにより、受入体制の強化が図られた。

課題： 新しい生活様式への対応等、MICEの沖縄開催における受入体制の強化を図るとともに、それらの取組を発信することで安全・安心なMICE開催地としての認知度を向上させる必要がある。

また、参加者の満足度向上に向けた質の高いサービスの提供、それに係る人材の育成やMICEコンテンツの開発など受入体制を強化するとともに、DXやSDGs等、新たな社会的取組を推進することにより、競合地との差別化を図る必要があることから、作成した「沖縄版感染症対策業界別ガイドライン集」「沖縄MICE開催におけるサステナビリティガイドライン」の活用を促進させる必要がある。

基本項目：「新時代沖縄」の到来

実施項目：沖縄らしい観光リゾート地の形成

重点施策事業名：マリンタウンMICEエリア形成事業（継続）

事業期間：令和2年度～令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 MICE推進課

### 1 事業の目的・内容

官民連携による新しい生活様式等の視点を踏まえたMICE施設の整備を含むMICEエリアの形成に向けて取り組む。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
マリン タウンMICE エリア形 成事業	35,341	1 マリンタウン MICEエリア形 成事業  ・官民連携による 新しい生活様式等 の視点を踏まえた MICE施設の整備を 含むMICEエリアの 形成に向けた取り 組みを実施する。	30,684	1 マリンタウン MICEエリア形 成事業  ・官民連携による 新しい生活様式等 の視点を踏まえた MICE施設の整備を 含むMICEエリアの 形成に向けた取り 組みを実施し、沖 縄県マリンタウン MICEエリア形 成事業基本計画（案） を取りまとめ公表 した。	最終予算額 34,781 執行率 88.2% 不用額 4,097

### 3 事業の効果/課題

#### (1) マリンタウンMICEエリア形成事業

効果： アフターコロナにおけるMICE開催の需要調査や企業等へのサウンディング調査等を実施し、またこれら業務を踏まえて事業スキームの検討や専門家への意見聴取等を行い、沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画（案）を取りまとめ公表した。

また、上記取組と並行して大型MICEエリア振興に関する協議会及び作業部会を開催した。

課題： 魅力あるマリンタウンMICEエリアの形成や積極的な民間投資を呼び込むため、引き続き、多様な業種・業態の企業等との対話や関係機関及び関係市町村との協議を重ね、アフターコロナを見据えたMICEエリアの在り方やスマートシティ等の先駆的な取組の検討を進める必要がある。

また、住民説明会等やパブリックコメントを踏まえ、沖縄県マリンタウンMICEエリア形成事業基本計画を策定するとともに、PFI法に基づく実施方針等の作成に向けた検討を進める必要がある。

**基本項目：**「新時代沖縄」の到来

**実施項目：**産業の振興と雇用の創出・安定

**重点施策事業名：**沖縄食文化保存・普及・継承事業（継続）

**事業期間：**平成28年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

長い歴史や諸外国との交流の中で、人々の生活に根付いて育まれた独自の食文化を次世代へ継承するとともに観光資源としての活用に繋げるため、琉球料理を基盤とした沖縄の伝統的な食文化の保存・普及・継承を推進する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄食文化保存・普及・継承事業	14,925	1 沖縄食文化保存・普及・継承事業  ・平成28年度に策定した「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画」に基づき、SNSやテレビ番組を活用した食文化の普及・啓発活動を行うほか、伝統的な食文化の体系的な整理（データベース化）等の取り組みを行う。 ・「沖縄の伝統的な食文化普及推進計画」の後継計画を策定する。	14,323	1 沖縄食文化保存・普及・継承事業  ・平成28年度に策定した「沖縄の伝統的な食文化の普及推進計画」に基づき、SNSやテレビ番組を活用した食文化の普及・啓発活動を行ったほか、伝統的な食文化の体系的な整理（データベース化）等の取り組みを行った。 ・「沖縄の伝統的な食文化普及推進計画」の後継計画を策定した。	最終予算額 14,925 執行率 96.0% 不用額 602

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄食文化保存・普及・継承事業

効果： 「沖縄の伝統的な食文化」への理解を深めるために大手レシピサイトへ16件投稿したほか、テレビ番組を活用した情報発信、「沖縄の伝統的な食文化データベース」を公開し情報発信を行った。

また、伝統的な食文化の保存・普及・継承に向け、「沖縄の伝統的な食文化普及推進計画」第2期計画を策定した。

課題： より効果的に伝統的な食文化の保存・普及・継承に向けた取組を推進するため、琉球料理传承人を活用した普及活動（学校等への出前講座や観光関連団体等との連携）について検討する必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：世界のウチナーネットワーク強化推進事業（継続）

事業期間：平成29年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

### 1 事業の目的・内容

「世界のウチナーンチュの日」が10月30日と制定されたことを受けて、同日を世界中で沖縄に想いを馳せる象徴的な日として定着させ、ウチナーネットワークの継承・発展を一層効果的に進めるための取組を実施する。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
世界のウチナーネットワーク強化推進事業	24,913	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業  (1) 広報  (2) 世界のウチナーンチュの日トークイベント  (3) 移民の歴史啓発ツアー	24,510	1 世界のウチナーネットワーク強化推進事業  (1) 世界のウチナーンチュの日を中心にWeb、SNS、ラジオ等で広報を実施した。  (2) 県外で活躍するタレント等によるトークイベントやパネルディスカッションの他、第7回世界のウチナーンチュ大会テーマソング表彰式を、対面・配信のハイブリッドにより実施した。 日時：10月30日 場所：沖縄県市町村自治会館 会場参加者：69名 YouTube視聴者数：1,920人（1/12時点延べ再生回数）  (3) 沖縄市に焦点を当て、沖縄市のまちまーい及び沖縄市の安慶田青年会エイサーとブラジルカンポグラン	☆ 最終予算額 24,913 執行率 98.4% 不用額 403

			<p>デのエピソードについてのトークをオンラインで実施した。 日時：2月13日 場所：オンライン 参加者：29人</p>
	(4) 移民の歴史啓発イベント		<p>(4) 北中城村とハワイのつながりに焦点をあて、両地域の文化を体感し、両地域と所縁のある県系人を通じて移民の歴史を学べるオンラインイベントを開催した。 日時：10月30日 場所：オンライン 参加者：70人（YouTube66人、Facebook4人）</p>
	(5) レッツスタディー！ウチナーネットワーク事業		<p>(5) 県内小中学校等を中心に移民歴史出前講座、指導者養成の講座を実施した（一部オンラインでも実施）。 ① 出前講座受講者：1,741名 ② 養成講座受講者：73名</p>
	(6) 沖縄文化芸能指導者派遣事業		<p>(6) オンラインで海外県人会に芸能指導を実施した。 指導先：シカゴ沖縄県人会、ペルー沖縄県人会、カンボグランデ沖縄県人会</p>

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 世界のウチナーネットワーク強化推進事業

効果：令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえながら、「世界のウチナーンチュの日」である10月30日前後の期間を中心に対面・オンラインによる様々な取組を実施した。

10月30日に開催した「世界のウチナーンチュの日トークイベント」では、県外で活躍するタレントによるトークライブや、各分野からの登壇者の経験談を交えて、来年の「世界のウチナーンチュの日」が更に浸透する方法についてのパネルディスカッション、第7回世界のウチナーンチュ大会テーマソング表彰式を実施した。同時にリアルタイムでオンライン配信も行い、県内のみならず、国内外に広く世界のウチナーンチュの日や世界のウチナーンチュ大会のPRにつなげた。

そのほか、移民の歴史啓発オンラインツアー・イベントやオンライン移民歴史講座を実施したところ、県民のみならず県外や海外からも参加があり、幅広い対象への移民の歴史啓発に取り組んだ。

海外県人会への沖縄芸能指導者派遣については、海外渡航は困難なためオンラインでの指導を行い、海外県人会が開催する世界のウチナーンチュの日関連イベントへの支援を実施した。

また、様々なメディアを活用した広報活動に加えて、特に多言語WEBサイトやSNSを活用した情報発信を行い、「世界のウチナーンチュの日」の県民認知度が令和2年度の40.0%から令和3年度は44.7%に上昇する結果につながった。

市町村等県内団体や海外県人会等による「世界のウチナーンチュの日」に因んだ取組については、令和3年度は県内では市町村等17団体、海外では県人会等5団体、計22団体が独自の取組を実施しており、昨年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により活動が難しい中でもオンラインを活用した取組が進んでいる。

課題： 「世界のウチナーンチュの日」に因んだ取組団体数について、令和元年度の50団体から、令和2年度、3年度実績はコロナ禍のためそれぞれ22団体と半数以下に減っている。そのような中でも継続して取組が実施できるよう施策を推進する必要がある。

また、SNSを通じて、特に若い世代を中心に「世界のウチナーンチュの日」の認知度向上を図る取組を実施し、ウチナーネットワークの次世代への継承と発展につなげていく必要がある。

令和4年度は、引き続き各施策を効果的に推進するとともに、10月から開催予定の「第7回世界のウチナーンチュ大会」への機運醸成につなげる必要がある。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：おきなわ国際協力人材育成事業（継続）

事業期間：平成25年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

### 1 事業の目的・内容

県内高校生の開発途上国等への派遣や、県内高校等で国際協力について学ぶ出前講座を実施し、国際協力の必要性を学び、グローバルな視点を持った、将来の本県の国際協力を担う人材を育成する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ 国際協力 人材育成 事業	38,363	1 おきなわ国際 協力人材育成事 業  (1)国際協力レポ ーター事業 県内の高校生を 国際協力レポータ ーとして開発途上 国に派遣し、国際 協力の現場を視察 させ現地の若者等 との交流を実体験 させる。  (2)国際協力理解 促進事業 県内の学校等で 国際協力活動の経 験者による出前講 座を実施し、国際 協力の必要性等の 理解促進を図る。	24,403	1 おきなわ国際 協力人材育成事 業  (1)国際協力レポ ーター事業 開発途上国の国 際協力現場へ県内 高校生を派遣する 「国際協力レポ ーター事業」は、コ ロナ禍の影響によ り、海外派遣を取 りやめオンライン 開催（県外3地域 と高校生とのオン ラインツアー等） とした。  (2)国際協力理解 促進事業 離島を含む21 校で、JICA海外協 力隊経験者等によ る国際協力に関す る出前講座を実施 した。 ①期間：10～1月 ②参加者数： 1,524名	☆ 最終予算額 25,066 執行率 97.4% 不用額 663

### 3 事業の効果/課題

#### (1) おきなわ国際協力人材育成事業

効果： 開発途上国の国際協力現場へ県内高校生を派遣する「国際協力レポーター事業」は、コロナ禍の影響により、海外派遣を取りやめオンライン開催（県外3地域と高校生とのオンラインツアー等）とした。

出前講座参加者へのアンケート調査の結果、国際的な視野が広がった生徒の割合が100%、国際協力の必要性に係る理解が深まった生徒が95%と高い数値となった。

課題： 派遣においては、引き続き、事前学習・事後学習の中で、国際協力を身近に捉えることが出来るようプログラムを組む必要がある。また、出前講座においては、受講者の関心度や規模等に合わせて内容を工夫する必要がある。

派遣に関し、JICAや受託業者など関係機関と連携し、外務省の渡航情報等海外の安全情報等の把握に努めるとともに、派遣国（地域）決定後についても、現地の最新の情勢を踏まえて、臨機応援に対応することも必要である。

出前講座に関し、応募がない学校などへの情報発信を強化するとともに、学校へのアプローチも課題である。

基本項目：誇りある豊かさ

実施項目：国際交流・協力の推進

重点施策事業名：第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業（継続）

事業期間：令和2年度～令和4年度

部課等名：文化観光スポーツ部 交流推進課

### 1 事業の目的・内容

令和4年度の第7回世界のウチナーンチュ大会開催に向け、大会開催周知や機運醸成を図るためのプレイベント等、開催準備を行う。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業	27,120	1 第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業  ・令和4年度の第7回世界のウチナーンチュ大会開催に向け、大会開催周知や機運醸成を図るためのプレイベント等、開催準備を行う。	27,120	1 第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業  ・令和4年度の大会開催に向け、大会周知や機運醸成を図るため、プレイベントや大会開催準備を実施した。  ①世界のウチナーンチュ大会図画コンクールの実施 ・応募作品 50点 ・優秀作品は、県内でパネル展を実施 ・最優秀作品を大会ポスターに使用予定(令和4年度)  ②シンボルマーク ・キャッチフレーズの募集、決定 最優秀作品を広報活動に使用 ・応募作品シンボルマーク128点、キャッチフレーズ311点  ③テーマソングの募集、決定 最優秀作品を広報活動に使用	最終予算額 27,120 執行率 100.0%

			<ul style="list-style-type: none"> <li>・応募作品 79点</li> <li>④ オンラインキャラバンの開催 大会概要説明、市町村からのメッセージ、参加者との意見交換を実施。</li> <li>・ポルトガル語圏 110人</li> <li>・英語圏 140人</li> <li>・スペイン語圏 80人</li> <li>・YouTubeでアーカイブ配信を実施</li> </ul>
--	--	--	---

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 第7回世界のウチナーンチュ大会開催事業

効果： 令和3年度は、シンボルマーク・キャッチフレーズ、テーマソングを決定し、国内外へポスターを配布した他、県立学校やラジオ局などへテーマソングのCDの配布を行った。また、凶画コンクールパネル展やオンラインキャラバンの実施、SNSを活用した広報活動を展開し、第7回大会への機運醸成に繋げた。

課題： 新型コロナウイルス感染症の感染状況や経済的影響等から、来県による大会参加が困難となる皆様にも参加頂けるよう、オンラインも含めたハイブリット形式による開催に向け取り組むとともに、SNSを活用した広報を拡充させる必要がある。

また、令和4年度は多くの復帰50周年事業も予定されており、多くの方の来県が見込まれるため、各イベント開催概要や宿泊施設、交通機関などの情報を収集し、大会参加者への情報提供や旅行関係業界への協力依頼が必要である。

### 4 その他

第7回大会日程は、以下の通り。

前夜祭 令和4年10月30日（日）

大会期間 令和4年10月31日（月）～11月3日（木・祝）

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：琉球歴史文化の日周知啓発事業（新規）

**事業期間**：令和3年度～

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

琉球歴史文化の日（11月1日）について、広報周知活動を行い、県民への認知度を向上させる。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球歴史文化の日周知啓発事業	12,927	1 琉球歴史文化の日周知啓発事業  琉球歴史文化の日に係る普及・啓発及び制定記念式典を実施する。	12,823	1 琉球歴史文化の日周知啓発事業  琉球歴史文化の日制定記念式典の他、キックオフイベント（歴史文化講座WEB配信）、各種コンテスト開催（ロゴマーク制定、琉歌、写真&キャッチコピー）、児童生徒を対象としたワークショップを実施した。	最終予算額 12,927 執行率 99.2% 不用額 104

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 琉球歴史文化の日周知啓発事業

効果： 琉球歴史文化の日制定記念式典の開催や、広報周知のための各種取組を行うことにより、県民が先人達が創り上げてきた沖縄の歴史と文化への理解を深めることができた。

課題： 琉球歴史文化の日（11月1日）を周知し、沖縄の歴史と文化に対する県民の認知度を向上させるため、各市町村等と連携した取組を行う必要がある。

**基本項目：**沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目：**歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名：**しまくとうば普及継承事業（継続）

**事業期間：**平成26年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 文化振興課

**1 事業の目的・内容**

沖縄文化の基層である「しまくとうば」を普及継承するため、県民大会の開催や、平成29年度に設置した「しまくとうば普及センター」を中心とした各地域の普及人材育成等を行う。

**2 事業の実績**

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
しまくとうば普及継承事業	94,806	<p>1 しまくとうば普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県民大会を開催する。</li> <li>・しまくとうば読本を作成し、県内小中学生へ配付する。</li> <li>・しまくとうばの普及活動を行う民間団体に対し、補助金を交付する。</li> <li>・県内で人材養成講座を開催する。</li> </ul>	85,988	<p>1 しまくとうば普及継承事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における県民大会第一部の中止に伴う、講演会のオンデマンド配信及び県民大会第二部の実施を通じて気運醸成を行った。</li> <li>・県内の小学生向けに13,300部、中学生向けに9,600部のしまくとうば読本を作成し、配布を行った。</li> <li>・しまくとうば普及活動を行う民間団体に対して、合計8件・6,307千円の補助金を交付した。</li> <li>・しまくとうば講師養成講座を開催。 合格者数 八重山初級:46名 北部中級:30名 合 計:76名</li> </ul>	<p>☆ 最終予算額 94,806 執行率 90.7% 不用額 8,818</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・しまくとうば普及センターの運営を行う。</li> <li>・しまくとうば県民意識調査を実施する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県文化協会へしまくとうば普及センターの運営を委託し、各地域におけるしまくとうば普及継承活動や県民運動を推進した。</li> <li>・しまくとうばに関する実態を把握し、しまくとうばの普及における今後の課題と効果的な普及方法の検討に向けた調査を実施した。</li> </ul>
--	---	---

### 3 事業の効果/課題

#### (1) しまくとうば普及継承事業

効果： 幅広い世代へ「しまくとうば」に触れる機会を提供することで、「しまくとうば」普及の気運醸成を図った。

しまくとうば普及センターを中心に、市町村や地域の団体が行うしまくとうば講座への支援等を行った。

課題： しまくとうばを使う人の数が伸び悩んでいるため、各地域の普及団体等と連携し、しまくとうばを聞く機会や話す機会の創出に努め、普及継承に取り組んでいく必要がある。

**基本項目：**沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目：**歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名：**琉球王国文化遺産集積・再興事業（継続）

**事業期間：**平成27年度～令和3年度

**部課等名：**文化観光スポーツ部 博物館・美術館

### 1 事業の目的・内容

戦後70年余を経て、戦災により失われた相伝の8分野のティーワジャ（手わざ）など王国時代の精緻で至高の技の世界を現代に蘇らせ、世界に誇る沖縄の手わざの力をモノを通して国内外へ発信し、琉球王国文化をブランドとした文化観光拠点として沖縄をアピールする。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
琉球王国 文化遺産 集積・再 興事業	73,113	1 琉球王国文化 遺産集積・再興 事業  ・ 復元した技術 （手わざ）及び模 造復元品を紹介す る県内外の巡回展 を行う。  ・ 平成28年度～令 和2年度に完成し た模造復元品製作 の報告書を作成す る。	64,995	1 琉球王国文化 遺産集積・再興 事業  ・ 復元した技術 （手わざ）及び模 造復元品を紹介す る県内外の巡回展 を行った。  ・ 平成28年度～令 和2年度に完成し た模造復元品製作 の報告書を作成し た。（全6巻）	☆ 最終予算額 73,113 執行率 88.9% 不用額 8,118

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 琉球王国文化遺産集積・再興事業

効果： 本事業によって復元した技術（手わざ）及び模造復元品を紹介する県内外の巡回展（東京・福岡・久米島）を開催し、期間中51,276人が観覧した。観覧者へのアンケートでは、「琉球王国文化の理解度が深まった」が96%、「展覧会の満足度」は96%という結果であった。また、平成27年度作成の実施設計書に基づき、平成28年度から開始し令和2年度に完成した琉球王国を代表する8分野（絵画・木彫・漆芸・石彫・染織・陶芸・金工・三線）の模造復元品の製作工程等を掲載した報告書6巻を発刊し、模造復元に係る情報を公開・発信した。

課題： 模造復元資料を活用した展覧会の開催や調査研究及び復元過程で得られた知見をより広く発信するため、研究機関や伝統工芸関係者・職人等と連携し効果的な取り組みを行う必要がある。また、琉球王国文化の手わざの復元に向けて継続した調査研究を行う必要がある。展覧会では、感染症拡大防止を意識した展覧会開催を工夫する必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：在外琉球王国文化財里帰り事業（継続）

**事業期間**：令和2年度～

**部課等名**：文化観光スポーツ部 博物館・美術館

### 1 事業の目的・内容

戦前、戦後を通して、様々な理由で県外に流出した琉球王国時代の文化財について、将来の沖縄での展示公開等を目的に、米国の博物館等で調査を行う。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
在外琉球 王国文化 財里帰り 事業	2,500	1 在外琉球王国 文化財里帰り事 業  ・アメリカの博物 館等で資料調査を 行う。	0	1 在外琉球王国 文化財里帰り事 業  ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で海外渡航ができず、現地調査を断念した。	最終予算額 2,500 執行率 0% 不用額 2,500

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 在外琉球王国文化財里帰り事業

効果： 新型コロナウイルスの感染拡大の影響で海外渡航ができず、アメリカの博物館等での調査を断念したことから、事業効果を得られなかった。

課題： 新型コロナウイルスの感染状況及び海外渡航の可否や調査予定の博物館等の調査受け入れ状況について、情報収集や連絡体制を継続する必要がある。平成2年度から平成6年度の調査報告を元に在米の琉球・沖縄関係資料を確認するなど情報収集を拡充する。

### 4 その他

新型コロナウイルスの感染状況を注視しながら、スミソニアン博物館職員及び在米県人会等との連絡・調整を進め、調査対象博物館への訪問機会の確保を図る。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：文化発信交流拠点整備事業（継続）

**事業期間**：平成24年度～

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄独自の文化の保存・継承や芸術文化創造活動を持続可能なものとするため、文化発信交流拠点の整備を行う。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
文化発信 交流拠点 整備事業	203	1 文化発信交流 拠点整備事業  ・平成30年度に策 定した実施計画 (案)に基づき、 関係機関等と施設 の規模やあり方等 について意見交換 を行い、実施計画 の策定に向け検討 する。	0	1 文化発信交流 拠点整備事業  ・新型コロナウイルス感染症拡大の 影響もあり移動を 伴う関係機関等と 直接接する調整 は行わず、県内文 化施設の稼働率調 査等を行った。	最終予算額 203 執行率 0% 不用額 203

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 文化発信交流拠点整備事業

**効果**：文化発信交流拠点の整備により、専門人材や文化芸術創造活動の活性化が図られるとともに、国内外に沖縄の文化芸術や芸能を広く発信することで、文化面から沖縄の魅力を高めることができる。

**課題**：実施計画(案)に基づき、関係機関等と施設の規模やあり方について意見交換を行い、実施計画の策定に向け検討する必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業（継続）

**事業期間**：平成29年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

### 1 事業の目的・内容

県内文化芸術活動の持続的発展に資する取組を、文化専門人材の目利きのもとで公募、審査、採択し、支援する。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄文化 芸術を支 える環境 形成推進 事業	81,683	1 沖縄文化芸術 を支える環境形 成推進事業  ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公 募、審査、採択し、 支援を行う。	125,584	1 沖縄文化芸術 を支える環境形 成推進事業  ・県内文化芸術活 動の持続的発展に 資する取組を公 募、審査、採択し、 支援を行った。 また、新型コロ ナウイルス感染症 の影響により活動 を自粛せざるを得 ないアーティスト 等を支援するため、 アーティスト等 が公演・展示会 等を開催し当該公 演等の動画を制作 ・配信する取組へ の支援を行った。	☆ 最終予算額 132,575 執行率 94.7% 不用額 6,991

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄文化芸術を支える環境形成推進事業

**効果**： 県内の文化関係団体等を対象として①文化芸術活動の継続・強化に向けた運営上の課題解決を図る取組17件、②文化芸術の享受者の拡大に資する魅力的な創造発信を行う取組7件、③文化芸術資源を活用して地域の諸課題の解決を促進する取組3件の合計27件を採択し支援した。また、新型コロナウイルス感染症の影響により活動を自粛せざるを得ないアーティスト等を支援するため、アーティスト等が公演・展示会等を開催し当該公演等の動画を制作・配信する取組について36件を採択し支援した。これらの支援により、本県の文化芸術活動を支える環境の形成が推進されるとともに、多様で豊かな文化芸術活動の持続的発展が図られた。

**課題**： 引き続き、関係団体等と意見交換を行いながら、文化資源を活用した文化芸術活動の持続的発展を支える環境の形成を推進する必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：多文化共生調査・啓発事業（継続）

**事業期間**：平成26年度～

**部課等名**：文化観光スポーツ部 交流推進課

**1 事業の目的・内容**

在住外国人が快適且つ安全・安心に暮らせる多文化共生型社会を構築するため、県内の多文化共生社会の構築に向けた環境づくりの意識啓発を図る。

**2 事業の実績**

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
多文化共 生調査・ 啓発事業	7,565	1 多文化共生調査・啓発事業  「おきなわ多文化共生推進指針」の施策例に基づき、市町村でモデル事業を実施し、その成果や課題・手法等を広く共有することで、市町村が多文化共生に関連した取組を実施しやすい環境を整える。	6,499	1 多文化共生調査・啓発事業  多文化共生モデル地域の浦添市を中心に、先駆的に活動している自治体等と広域で事業を展開。県内市町村や関係機関を対象とした意見交換会・ワークショップや、多文化共生マネージャーによる講演会、地域日本語教室に関する意見交換会、大学生によるオンライン多文化共生イベントの実施、動画コンテンツの作成を行い、県内市町村における多文化共生の地域づくりの取組を促進させた。	最終予算額 7,565 執行率 85.9% 不用額 1,066

**3 事業の効果/課題**

(1) 多文化共生調査・啓発事業

効果：平成27年～28年の2年間、宜野湾市を実施モデル地域として多文化共生モデル事業を実施。防災、交流、教育等のワークショップや日本語サークルなどの文化講座を通し、多文化共生に対する地域の意識啓発に繋げることが出来た。

また、宜野湾市では平成29年度より新たに国際交流員を採用し、庁内案内看板やHP等の多言語化、国際交流基本構想の見直しが検討されるな

どの成果があった。

平成30年度は石垣市をモデル地域として、各種啓発事業や多文化共生マネージャー全国協議会監事を招いてのシンポジウム、地域に在住する外国人の地域社会参画のきっかけとなる交流会を実施し、同市における多文化共生社会の構築に向けた環境づくりを促進した。

令和元年度は、これまで沖縄県で多文化共生モデル事業を実施した宜野湾市等の先駆的に活動している自治体等と広域で事業を展開し、市町村行政担当者や住民を対象とした多文化共生についての意識啓発や、「やさしい日本語」の普及啓発事業を実施した。

令和2年度は、3年毎に実施している外国人住民を対象としたアンケート調査を実施し、市町村行政担当者や市民を対象に調査結果の共有を図り、また、外国籍の住民との自発的なコミュニケーション活動を目指した「やさしい日本語」の普及啓発を行った。

令和3年度は、多文化共生モデル地域の浦添市を中心に、先駆的に活動している自治体等と広域で事業を展開。県内市町村や関係機関を対象とした意見交換会・ワークショップや、多文化共生マネージャーによる講演会、地域日本語教室に関する意見交換会、大学生によるオンライン多文化共生イベントの実施、動画コンテンツの作成を行い、県内市町村における多文化共生の地域づくりの取組を促進させた。

課題： 令和2年度の「多文化共生推進調査」により、在住外国人や市町村の取組について現状把握を行ったところ、約6割の市町村で多文化共生施策の推進への取組を行っていないことが明らかとなったことから、引き続きモデル事業の実施や、各種啓発等に努め、市町村等の取組を促進していく必要がある。

**基本項目：**沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目：**歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名：**沖縄空手ユネスコ登録推進事業（継続）

**事業期間：**令和元年度～

**部課等名：**文化観光スポーツ部 空手振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄空手を次世代に正しく保存・継承し、「空手発祥の地・沖縄」を国内外に広く発信するため、ユネスコ無形文化遺産登録の推進に向けた関係機関による推進協議会を設置し、県民の気運醸成を図るとともに、登録に必要な内容の検討を行う。

### 2 事業の実績

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄空手 ユネスコ 登録推進 事業	9,017	1 沖縄空手ユネスコ登録推進事業  ・関係機関で構成する協議会を設置し、登録に必要な内容の検討を行うとともに、県民の気運醸成を図る。	8,324	1 沖縄空手ユネスコ登録推進事業  ・関係機関で構成する協議会を設置し、登録に必要な内容の検討を行ったほか、県民の気運醸成に向けた広報やイベントを実施した。	最終予算額 9,017 執行率 92.3% 不用額 693

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄空手ユネスコ登録推進事業

効果： 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録にむけた取組の着実な推進が図られた。

課題： 沖縄空手のユネスコ無形文化遺産登録の早期実現を図るため、引き続き県民の気運醸成及び調査・研究の取組を推進する必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

重点施策事業名：沖縄県空手振興事業（継続）

事業期間：平成29年度～令和13年度

部課等名：文化観光スポーツ部 空手振興課

1 事業の目的・内容

沖縄空手を振興するため策定した「沖縄空手振興ビジョン」及び「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」に基づいた施策を展開する。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計画		実績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
沖縄県空 手振興事 業	122,023	1 沖縄県空手振興事業	90,100	1 沖縄県空手振興事業	☆ 最終予算額 122,023 執行率 73.8% 翌年度繰越額 11,390 不用額 20,533
	20,640	(1) 沖縄空手流派研究事業 ・ 沖縄空手の流派に関する解説書の作成	20,640	(1) 沖縄空手流派研究事業 ・ 古武術に関する解説書の作成	最終予算額 20,640
	12,000	(2) 沖縄空手イベント開催事業 ・ 空手の日記念演武祭の開催	12,000	(2) 沖縄空手イベント開催事業 ・ 空手の日記念演武祭の開催	最終予算額 12,000
	20,177	(3) 沖縄空手指導者派遣事業 ・ 国内外への空手家の派遣	3,585	(3) 沖縄空手指導者派遣事業 ・ 新型コロナの影響により海外・県外への指導者派遣は中止し、県内団体への指導者派遣を実施	最終予算額 20,177 不用額 16,592
	11,204	(4) 沖縄空手案内センター事業	11,204	(4) 沖縄空手案内センター事業	最終予算額 11,204

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手案内センターの開設</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手案内センターの設置</li> </ul>	
9,246	(5) 沖縄空手普及・啓発事業	9,246	(5) 沖縄空手普及・啓発事業	最終予算額 9,246
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の媒体を活用した空手の広報等</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内のイベントへ参加し沖縄空手の周知を実施</li> </ul>	
1,410	(6) 沖縄空手資料収集・調査研究事業	1,177	(6) 沖縄空手資料収集・調査研究事業	最終予算額 1,410 不用額 233
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手の資料収集・調査研究</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・戦前、戦後の空手関連の新聞記事収集及び沖縄空手会館で空手関連記事を紹介する展示パネルの作成</li> </ul>	
4,500	(7) 沖縄空手会館企画展示事業	4,500	(7) 沖縄空手会館企画展示事業	最終予算額 4,500
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手会館での企画展の開催</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手会館資料室の企画展「沖縄空手、世界へ」の実施</li> </ul>	
11,475	(8) 聖地・沖縄空手ガイド養成事業	11,468	(8) 聖地・沖縄空手ガイド養成事業	最終予算額 11,475 不用額 7
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手専門のガイドの養成</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄空手ゆかりの地などを案内できる専門ガイドの養成</li> </ul>	
16,000	(9) 第2回沖縄空手世界大会開催準備事業	4,610	(9) 第2回沖縄空手世界大会開催準備事業	最終予算額 16,000 翌年度繰越額 11,390
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回沖縄空手世界大会の開催準備</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・大会規定の策定や審判講習会の実施</li> </ul>	
15,371	(10) 沖縄県空手振興事業におけるその他事務費	11,670	(10) 沖縄県空手振興事業におけるその他事務費	最終予算額 15,371 不用額 3,701

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 沖縄県空手振興事業

効果： 新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、空手の日記念奉納演武及び演武祭は規模を縮小して開催するとともに演武祭の映像を配信し「空手発祥の地・沖縄」を国内外へ発信した。

また、世界大会審判講習会をオンラインで開催し沖縄空手の保存・継

承に取り組んだ。

新型コロナウイルス感染症の影響により沖縄空手会館の来館者数が低迷しており、沖縄空手会館常設展及び企画展の集客や空手会館の知名度向上を図るため、県内の小学生に対して沖縄空手を学ぶ授業の実施、企画展開催時期に合わせて沖縄空手会館の資料室見学を行い、沖縄空手の普及・啓発に取り組んだ

課題： 県外での「空手発祥の地・沖縄」の認知度向上が課題となっていることから、沖縄空手の普及・啓発に係る取組のさらなる推進を図る必要がある。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：歴史と誇りある伝統文化の継承と発展

**重点施策事業名**：国民文化祭・障がい者芸術文化祭おきなわ2022（仮称）  
準備事業（継続）

**事業期間**：令和2年度～令和4年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 文化振興課

**1 事業の目的・内容**

国民文化祭・障害者芸術文化祭は、各都道府県持ち回りで開催され、沖縄県では復帰50周年の節目での開催が予定されていることから、先催県にならない、開催前年度から準備事業を行う。

**2 事業の実績**

（単位：千円）

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
国民文化祭・障がい者芸術文化祭おきなわ2022(仮称)準備事業	89,904	1 国民文化祭・障がい者芸術文化祭おきなわ2022(仮称)準備事業  (1) 県実行委員会等の運営  (2) 開閉会式準備  (3) 分野別フェスティバル（市町村主催）の実施準備、支援  (4) 開催周知、気運醸成に向けた広報活動	89,904	1 国民文化祭・障がい者芸術文化祭おきなわ2022(仮称)準備事業  (1) 県実行委員会等の運営 ・実施計画の策定 ・県実行委員会、国文祭・障文祭企画会議の開催 各3回  (2) 開閉会式準備 ・開閉会式実施計画の策定  (3) 分野別フェスティバルの実施準備、支援 ・市町村と文化団体との実施に向けた調整 ・先催県視察への助成 ・市町村説明会の開催  (4) 広報活動 ・公式ポスターチラシの作成 ・1年前プレイベントの開催 ・和歌山県閉会式	最終予算額 89,904 執行率 100%

				でのプロモーション実施（大会旗引継、沖縄県PRステージアトラクション） ・市町村巡回広報の実施等
--	--	--	--	---

### 3 事業の効果/課題

(1) 国民文化祭・障がい者芸術文化祭おきなわ2022（仮称）準備事業

効果： 令和4年度に開催される第37回国民文化祭、第22回全国障害者芸術・文化祭の開催に向け、実施計画の策定等の実施準備を行うとともに、関係機関等との連携・協力により気運醸成を図り、プレイベントや各種プロモーション活動などの広報等による開催周知を行った。

統一名称：美ら島おきなわ文化祭2022

開催期間：令和4年10月22日（土）～令和4年11月27日（日）

課題： 国民文化祭・障害者芸術文化祭の開催に向け、「実施計画」に基づいて各種事業の準備を行うとともに、引き続き、気運醸成のための関係機関等との連携・協力、開催周知に係る広報活動などの取り組みを行う必要がある。

基本項目：沖縄らしい優しい社会の構築

実施項目：医療の充実・健康福祉社会の実現

重点施策事業名：社会体育活動の推進（継続）

事業期間：平成10年度～

部課等名：文化観光スポーツ部 スポーツ振興課

1 事業の目的・内容

総合型地域スポーツクラブや各スポーツ関係機関と連携し、県民がスポーツで  
きる機会の拡大とスポーツへの関心と意欲を高め、社会体育活動の推進を図る。

2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当 初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
社会体育 活動の推 進	9,809		6,188		最終予算額 10,938 執行率 56.6% 不用額 4,750
	1,388	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・スポーツ振興審 議会の運営や本県 の生涯スポーツ振 興施策に関する経 費。	1,732	1 生涯スポーツ 振興事業費 ・沖縄県生涯スポ ーツ功労者等表彰 (4名、2団体)。 沖縄県スポーツ栄 誉賞及び指導者特 別賞表彰(9名、 1名)。	最終予算額 2,517 執行率 68.8% 不用額 785
	4,127	2 社会体育活動 支援事業費 ・沖縄県スポーツ ・レクリエーショ ン祭の開催。 ・県立学校体育施 設開放事業の実 施。	1,404	2 社会体育活動 支援事業費 ・県立学校体育施 設開放事業の実 施(開放校9校、利 用団体・種目11団 体・9種目)。	最終予算額 4,127 執行率 34.0% 不用額 2,723
	4,294	3 広域スポーツ センター事業費 ・地域住民が、身 近な地域でスポ ーツに親しむこと ができる総合型地 域スポーツクラブ の創設、育成及び 支援を行い、総合	3,052	3 広域スポーツ センター事業費 ・県広域スポーツ センター及び県体 育協会にクラブア ドバイザーを配置 し、クラブ訪問等 によりクラブ運営 に関する助言・指	最終予算額 4,294 執行率 71.1% 不用額 1,242

	<p>地域スポーツクラブに対する助言・指導を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施。</li> <li>・ 大学と連携した総合型地域スポーツクラブの普及・啓発。</li> </ul>	<p>を実施（25件）。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 総合型地域スポーツクラブ担当者会議及び研修会の実施（参加者12名）。</li> <li>・ 大学の授業やゼミを活用し総合型地域スポーツクラブの普及啓発を実施（沖縄国際大学・参加者200名） （名桜大学・参加者109名）。</li> </ul>	
--	--	---	--

### 3 事業の効果/課題

#### (1) 生涯スポーツ振興事業費

効果： スポーツ振興審議会を開催し本県におけるスポーツ振興施策に反映させるとともに、生涯スポーツ功労者表彰の実施等を通じ本県の生涯スポーツを推進した。

課題： 生涯スポーツの更なる推進を図るためには、当該取組を継続して実施するほか、他県の優良事例等の情報を収集し、取り組んでいくことが必要である。

#### (2) 社会体育活動支援事業費

効果： 県民にとって身近なスポーツ施設である学校体育施設を有効活用することを通じ生涯スポーツを推進した。

課題： 毎年、各学校へ希望調査依頼を行っているが、外部団体の出入りについての管理や学校部活動優先、クラブへの周知が行き届いていない等の理由から、開放校数が伸びていない。今後、積極的にクラブへ周知していきたい。

#### (3) 広域スポーツセンター事業費

効果： 地域住民が、身近な地域でスポーツに親しむことができる総合型地域スポーツクラブの創設、育成及び支援を行うことを通じ生涯スポーツの推進を図った。

課題： 令和3年4月時点で県内に63クラブ育成されているが、人材の確保や財政面において課題を抱えているクラブがあるため、引き続きクラブ訪問等を通じ助言・指導を推進する。

**基本項目**：沖縄らしい優しい社会の構築

**実施項目**：安心・安全で快適な社会づくり

**重点施策事業名**：おきなわ観光バリアフリー推進事業（継続）

**事業期間**：平成30年度～令和3年度

**部課等名**：文化観光スポーツ部 観光振興課

### 1 事業の目的・内容

沖縄を訪れる高齢者、障がい者等の観光客が、沖縄を楽しめるようにきめ細やかな受入体制の整備を図るとともに、バリアフリー観光情報の発信や体験プログラムの開発等を行い、観光誘客に繋げる。

### 2 事業の実績

(単位：千円)

重点施策 事業名	令和3年度				備考
	計 画		実 績		
	当初 予算額	事業内容	決算額	事業内容	
おきなわ 観光バリア フリー 推進事業	22,469	1 おきなわ観光 バリアフリー推 進事業  ・観光関連事業者 を対象としたセミ ナーを計4回程度 開催する。  ・観光関連事業者 に対し、観光バリア フリーアドバイザーを計6回程度 派遣し、各種助言 を行う。  ・県内観光関連事 業者を対象とした バリアフリーに係 る取組状況調査。	22,022	1 おきなわ観光 バリアフリー推 進事業  ・計4回のセミナ ーを開催し、合計 153人が参加した。  ・計7回アドバイ ザー派遣を実施 し、各種助言を行 った。  ・県内観光関連事 業者を対象にアン ケート調査を実施 し、137事業者か ら回答を得た。	☆ 最終予算額 22,469 執行率 98.0% 不用額 447

### 3 事業の効果/課題

#### (1) おきなわ観光バリアフリー推進事業

効果： セミナーの開催等により、観光バリアフリーに対する意識啓発及びノウハウが共有され、県内の受入体制の促進に繋がった。また、展示会への出展、WEB・SNSを活用したプロモーション及びインフルエンサーによる情報発信等により、沖縄観光バリアフリーの認知度向上に寄与した。

課題： 県内観光関連事業者における観光バリアフリー受入体制の積極的な取組を促し、さらなる受入体制の充実を図る必要がある。また、国内外に対し、バリアフリー観光地としての認知度を高めていく必要がある。